

平成28年度事業報告

公益社団法人 にいがた被害者支援センター

項目	事業内容	
1 事業方針	犯罪等により被害を受けた被害者やその家族及び遺族に対し、支援活動員による被害者支援活動を行うとともに、県民に対する広報啓発活動を推進し、被害者支援の必要性や重要性を呼び掛け、社会全体の被害者支援意識高揚を図り、被害者支援の輪を広げる。	
2 事業内容	にいがた被害者支援センターは、上記方針に基づき、関係機関、団体等と連携を図りながら以下の活動を行った。また新潟県から性暴力被害者支援センターにいがた(以下「ワンストップ支援センター」という。)の業務委託を受け、その業務の推進を行った。 (1) 犯罪被害者等に対する電話相談及び面接相談事業…《公1事業》 (2) 犯罪被害者等への直接支援事業……………《 》 (3) 犯罪被害者等自助グループへの支援事業……………《 》 (4) 犯罪被害者等給付金裁定申請手続補助事業 ……《 》 (5) 犯罪被害者等の支援に関する広報・啓発事業……………《公2事業》 (6) 相談員・直接支援員の育成及び研修事業……………《公3事業》	
3 各事業別計画実施状況		
事業内容	実績、場所等	
(1) 犯罪被害者等に対する電話相談及び面接相談事業	毎週月～金曜日 10:00～16:00 (但し、祝日を除く。) 新潟ユニゾンプラザ[®]ハート館	
ア 電話相談	支援活動員2名体制による無料電話相談を実施するとともに、必要に応じて関係機関、団体の紹介を行った。	相談件数 380 件 別紙のとおり (前年度372件) 転送電話件数 長岡～38件 上越～10件
イ 面接相談	ワンストップ支援センター電話相談を12月1日に開設し、女性支援活動員が2名体制による無料電話相談を実施した。	相談件数 35 件 別紙のとおり
イ 面接相談	電話相談等で面接相談が必要と判断した被害者等に対し、面接相談を実施して相談を受けるとともに、被害者に最適な専門的援助方策や解決策を共に考えるなどのサポートを行った。原則2名体制で対応	相談件数 31件 別紙のとおり (前年度 25件) ワンストップ支援センター 相談件数 4件 別紙のとおり
(2) 犯罪被害者等への直接支援事業	面接相談等で支援が必要と判断した被害者等に対し、裁判所、弁護士事務所等への付添い、及び必要により臨床心理士によるカウンセリング、産婦人科医診察等の直接的な支援を行った。	
(3) 犯罪被害者等自助グループへの支援事業	5月8日、7月10日、 9月4日、11月13日、 1月15日、3月12日 (13:30～15:30) 新潟ユニゾンプラザ[®]	
	同じような辛い体験をした被害者同士が互いの体験を語り、感情を分かち合う自助グループの支援を行った。	参加人員21 名 内訳別紙のとおり (前年度 28名、-7名)
(4) 犯罪被害者等給付金裁定申請手続補助事業		
	申請者の負担軽減のため、複雑な犯罪被害者等給付金申請手続きを補助。	支援件数 0件 (前年度 0件)

(5) 犯罪被害者等の支援に関する広報・啓発事業	
ア 広報紙を発行し、支援センターの活動内容等を県民に周知広報するとともに社会全体に被害者支援の輪を広げる活動を推進した。 ・広報紙「支援センターだより」年2回発行	・7月 No.20 6,000部発行 ・3月 No.21 6,000部発行
イ リーフレット、メモ帳等の広報資料の作成・配布及び各種イベント、公共交通機関、県内各市の広報紙等を利用した広報媒体等により、支援センターの相談窓口や活動内容等について広報啓発活動を行った。 ・各種イベント時における広報活動 ・県内各市町村広報紙を利用した広報	・リーフレット6,000部2回作成 ・ポケットティッシュ5,000部作成 ・産婦人科リスト入りリーフレット 15,00部作成 ・メモ帳 5,000部 作成 ・トミカ博イベント広報、県交通安全フェア、イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン等における広報活動14回実施 ・新潟市
ウ ワンストップ支援センター関係の広報	・リーフレット、名刺型カード、小冊子各10,000部作成 ・県内中学校、高校、大学、専門学校、市町村、関係機関団体等600カ所に対し各8000部配布 ・JRデジタルサイネージを利用した広報 県内主要駅14カ所
エ ホームページを利用して分かりやすく、必要な情報を発信するように努めた。	・ホームページ閲覧件数(年間) トップページ 19,096件 (+7,919) 全コンテンツ 79,840件 (+23,516)
オ 内閣府設定「犯罪被害者週間」(11月25日～12月1日)に県民の被害者支援意識高揚のため、「犯罪被害者支援フォーラム2016inにいがた」を開催するとともに、街頭広報キャンペーン活動を行った。 ①街頭キャンペーン活動の実施 実施日 11月19日(土) リーフレット、メモ帳、ティッシュ等配布 ②「犯罪被害者支援フォーラム2016inにいがた」の共同開催 主催:県、県警、当センター 開催日 11月26日(土) パネル展示及び被害者遺族手記集等配布	・街頭キャンペーン 新潟駅JR万代口及びコンコース内の2カ所で県、県警とセンター員20名が共同でリーフレット、メモ帳、ティッシュの他フォーラムチラシ等1,000部街頭配布 ・被害者支援フォーラム 会場:新潟市民プラザ大ホール 講演:「立ち上がる選択～被害者にも加害者にもさせない為に～」 講師:大 藪 順 子 参加者 140名
カ 巡回啓発活動等を通じて当センターの活動内容の説明や講話等により理解を得て、団体、法人及び個人の賛助会員の新規獲得及び寄附受け入れに努めた。	・ロータリークラブ 1回 ライオンズクラブ1回 倫理法人会3回 その他民間事業所、団体 3回 ・新規賛助会員入会 個人25人、6団体
キ マスメディアを利用してセンターの広報に努めた。	・TVによる広報～民放4社 4月～10月 ・新潟日報への広告掲載2回(4月、12月)
(6) 相談員・直接支援員の育成及び研修事業	
ア 被害者支援に関わる分野の講師を招いて、継続講座を実施し、支援活動員の質的向上を図った。	毎月1回 年12回実施 延べ222名出席 新潟ユニゾンプラザ
イ ワンストップ支援センター養成講座開設	・4月～6月募集 31人応募 ・7月～9月養成講座 10回 受講者30人 ・10月～12月実施研修25人 ・12月1日 開設 21人
ウ 犯罪被害者支援センター養成講座開設	・ワンストップ支援センター支援活動員から募集し、受講者16人 ・12月～3月 養成講座 13回 ・犯罪被害者支援センター支援活動員希望者9人

<p>エ 全国水準の支援活動を行える支援活動員を育成するため、全国被害者支援ネットワーク主催の各種研修会等及び内閣府主催の研修会に参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関東・甲信越ブロック研修会 ・全国フォーラム・秋期全国研修会 ・全国コーディネーター研修会 ・性犯罪被害者等支援体制整備促進事業研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・8月5日～6日 支援活動会議 1人 東京都 ・8月22～26日 直接的支援実施研修 1人 東京都 ・9月30日～10月2日 全国フォーラム・秋期全国研修会 6人 東京都 ・12月7～8日 自助グループ継続研修会 2人 東京都 ・2月2～3日 性犯罪被害者支援体制研修会 1人 東京都 ・2月4～5日 質の向上研修下半期関東甲信越ブロック研修会 2人 東京都
<p>4 その他</p>	
<p>(1) 他機関等との連携等</p>	
<p>ア 全国ネットワーク、他県センターとの連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4月26日 全国事務局長会議 東京都 ・5月27日 全国被害者支援ネットワーク通常総会 東京都 ・8月25日 全国理事長会議 東京都 ・10月14日 関東甲信越ブロック事務局長会議 東京都 ・6月17日 やまがた性暴被害者支援センター視察 ・9月5日 性暴力被害相談支援センターみやぎ視察 ・12月5日 ぎふ性暴力被害者支援センター視察 ・3月28日 やまなし被害者支援センターから視察
<p>イ 県弁護士会との意見交換会の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・9月13日 19名出席 ハミングプラザVIP新潟
<p>ウ 県臨床心理士会との意見交換会の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10月22日 14名出席 新潟ユニゾンプラザハート館
<p>エ 県産婦人科医会との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・12月16日 産婦人科医にマニュアルの配付
<p>オ 二次的被害防止のための関係機関研修の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・9月29日 まつしま病院看護師 幸崎若菜氏 46人受講 ・10月26日 武蔵野大学教授 小西聖子氏 54人受講 ・12月15日 弁護士 大花真人氏 36人受講
<p>オ 新潟県被害者支援連絡協議会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・11月11日 定期総会 ・7月21日 性被害専門部会 ・1月31日 広報専門部会
<p>カ 全国被害者支援ネットワーク理事会・支援活動検討委員会</p>	<p>支援局長通年出席 8回</p>
<p>キ 内閣府犯罪被害者等施策検討会議</p>	<p>支援局長通年出席 1回</p>
<p>ク 警察署被害者支援連絡協議会定期総会講演</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・12月～2月まで4回実施 (南魚沼、五泉、加茂、津川各警察署)
<p>ケ 県警察職員研修講義</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・9月27日、28日被害者支援専科教養 2回
<p>コ 「いのちの大切さを学ぶ教室」講義</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4月21日 群馬県中央中等教育学校 ・5月19日 長岡農業高校 ・7月11日 白井中学校 ・11月29日 長岡英智高校 ・12月8日 柏崎市立第1中学校 ・12月13日 群馬県渋川中学校
<p>(2) 管理運営等</p>	
<p>ア 会員及び賛助会員の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3月末現在正会員数 本年度 個人 52人 団体 9団体 前年度 " 52人 団体 9団体 ・3月末賛助会員数 本年度 個人 203人 団体 80団体 (新規 個人 25人 団体 6団体) 前年度 " 213人 団体 89団体

イ 被害者支援自動販売機設置状況及び寄付受入状況	<ul style="list-style-type: none"> ・3月末現在設置台数 本年度 民間49台 県警43台 計92台 前年度 民間49台 県警41台 計90台 ・自販機28年度寄附金額 2,646千円(+350千円) ・匿名による多額寄付10,000,000円
ウ ファンドレイザーによる賛助会員等獲得状況	<ul style="list-style-type: none"> ・3月末賛助会員獲得 個人 12人 13,000円 団体 6団体 60,000円 ・寄付獲得件数5件 個人2件4,000円 団体3件23,000円 ・寄付金付自販機 2台
エ 感謝状の贈呈	<ul style="list-style-type: none"> ・10月9日 自動販売機売上からの寄付者 平成24年度から継続の9事業所(上杉興業、新潟県自動車販売店協会、ガレージプロセス、萬代電業、同佐渡営業所、同魚沼営業所、新潟県共済生活協同組合、第一建設、新潟県安全運転管理者協会)
オ 電話相談室の増設	<ul style="list-style-type: none"> ・12月1日 ワンストップ支援センター開設に伴い電話相談室を増設した。
カ イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンによる寄付	<ul style="list-style-type: none"> ・4月21日、10月24日に受領 寄付金総額 73,300円
キ 社員総会、理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・4月25日 第1回定時理事会 <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度事業報告、決算報告 役員を選任候補者の推薦 個人正会員の入会承認 総会に付議する事項 ・5月27日 定時社員総会 <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度決算報告 役員を選任 ・5月27日 臨時理事会 <ul style="list-style-type: none"> 理事長及び専務理事の選定 ・10月27日 第2回定時理事会 <ul style="list-style-type: none"> 就業規程の改正 顧問の選任 ・3月22日 第1回臨時理事会 <ul style="list-style-type: none"> 組織及び事務分掌規程の改正 平成29年度事業計画、予算 顧問の選任 管理責任者及び支援活動責任者の任命 個人会員の入会承認
ク 四役会議	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長、専務理事、支援局長、事務局長による運営等検討会 4月15日、6月22日、7月27日、10月12日 11月9日、3月1日